

唾液に対する一酸化窒素定性試験

比色表

原理

内皮由来弛緩因子 (EDRF) として知られる一酸化窒素ガス (NO) は、血管の柔軟性を保つうえで基本的な化合物であり、酸素が存在していると硝酸イオン (NO₃) に変化します。唾液中では、還元作用によって亜硝酸イオン (NO₂) となりますが、これは著名な Griess 反応によって測定することができます。

測定方法

- ・綿棒と反応試験チューブのいった袋を開封します。
- ・すべての試薬が試験チューブの底に沈殿するまで試薬を振りまします。
- ・天然水で1~2回口をゆすぎます。
- ・口腔内に相当量の唾液を溜めた後、綿棒を口に入れます。
- ・綿にできるかぎり多くの量の唾液をしみ込ませます。
- ・試験管を開け、綿棒の唾液を十分にしみ込ませた部分を中心に挿入します。
- ・しみ込ませたすべての唾液がしっかりと流出するように、試験チューブの底を押して回します。
- ・5分後に、添付の比色表と照合します。

検査結果の評価

25未満	一酸化窒素の産出不足
25-50	最適値
50-100	軽度の炎症
100-200	中等度の炎症
200-400	重度の炎症
400超	きわめて重度の炎症

炎症は咽頭 (溶血性レンサ球菌) ・胃食道 (ヘリコバクター・ピロリ菌) ・歯 (歯周病菌) のものである可能性があります。

したがって、この検査は、消化器専門医、小児科医、歯科医に特に有用です。



製品	商品コード	定価 (税別)
唾液 NO 定性テスト 40回分	DI-F01	¥56,000円
唾液 NO 定性テスト 20回分	DI-F02	¥30,000円

問い合わせは下記まで

株式会社ウイスマー/ウイスマー研究所
〒113-0033
東京都文京区本郷 3-3-12
ケイズビルディング7階
TEL : 03-5802-7333 FAX : 03-5802-7332
E-mail : info@wismerll.co.jp
URL : http://www.wismerll.co.jp



～win-win から happy-happy ～

WB&DT 協和メディシード (株)

ご注文 FAX:06-6147-2393